

経営比較分析表（令和6年度決算）

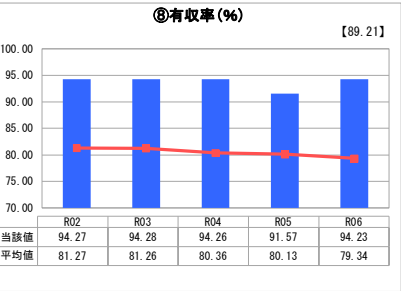
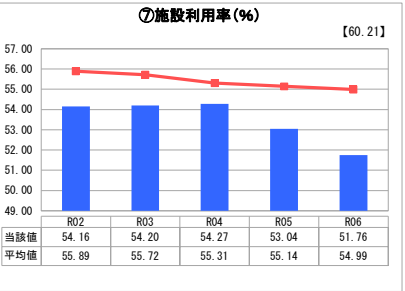
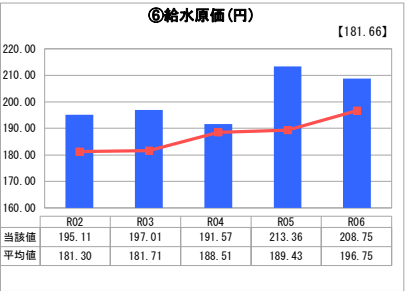
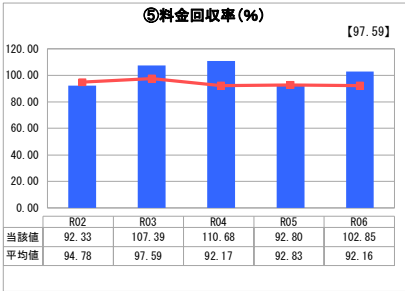
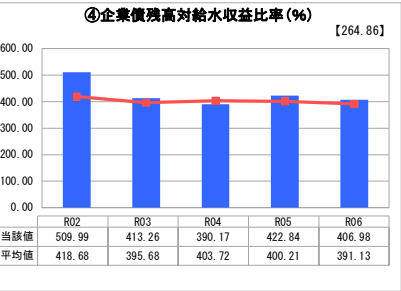
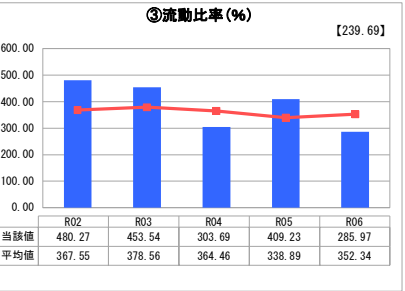
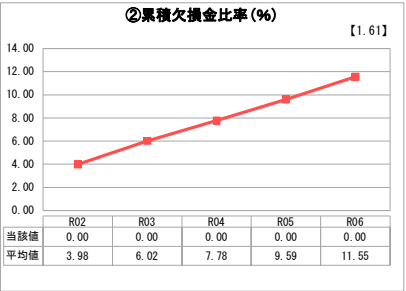
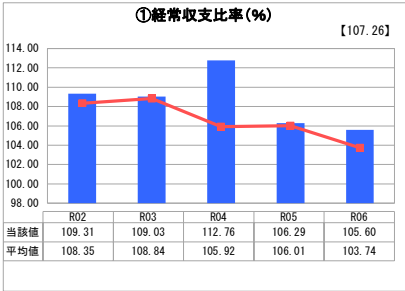
石川県 羽咋市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.93	97.17	3,905	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,585	81.85	239.28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,900	81.85	230.91

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

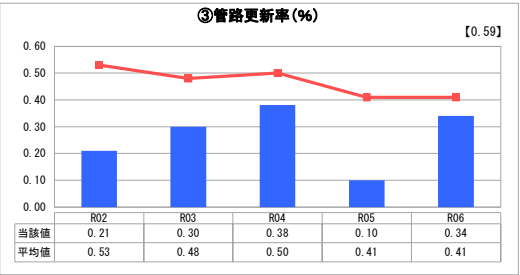
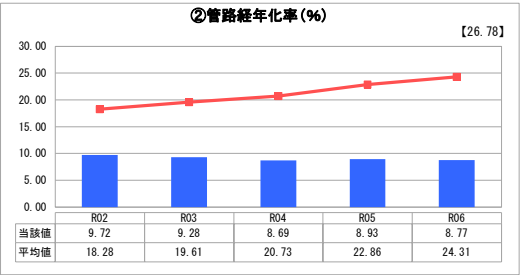
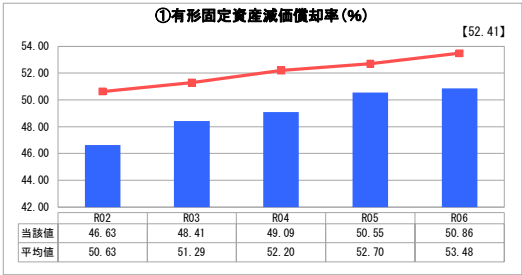


分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
- ①②収支は黒字で、累積欠損金も発生していないことから健全経営であると言える。しかし、料金収入については、特に家庭用の超過料金収益において、人口減少に伴い減収となる見通しである。また、物価の上昇や下水道管の災害復旧に伴う水道管支障移転工事による減価償却費の増に伴い、経常経費は上昇していく見込みであることから、より一層の経費節減に努めるなど、更なる経営改善に取り組む必要がある。
- ③100%を上回っており、短期的支払能力は確保されているといえる。
- ④下水道管災害復旧に伴う水道管支障移転工事費の急激な増加が見込まれる。このため、今後は借入が増加し、その償還が経営を圧迫していくことが懸念される。施設更新については、長期的な視野に立ち、適切な施設更新を行っていく必要がある。
- ⑤災害などにより料金減免を実施した年度を除き、給水にかかる費用を料金収益で賄っている。
- ⑥類似団体及び全国平均を上回り増加傾向である。漏水調査・老朽管更新・凍結防止の広報など、手を尽くして有収率の向上に努める。
- ⑦類似団体及び全国平均とも下回っているため、今後の水需要の動向を慎重に見極め、統廃合を含めた施設更新を検討する。
- ⑧令和5年度は地震により漏水が多発したため、大幅に減少している。類似団体及び全国平均を上回っているが、計画的に漏水調査を実施するなど、漏水対策や老朽管更新を進め、更なる向上を図る。

2. 老朽化の状況について
- ①②類似団体及び全国平均よりも低い水準にあるが、有形固定資産減価償却率は年々上昇しており、今後、耐用年数を迎える施設が加速的に増加していくことが予想されている。資本費の平準化を図り、計画的に管路等の更新を進めるため、アセットマネジメント計画の改定に着手し、計画に基づき経営のバランスを取りながら長寿命化に取り組んでいく。
- ③類似団体及び全国平均を下回っているものの、今後、下水道管災害復旧に伴う水道管支障移転により、管路更新率は上昇傾向となる見込みである。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少による料金収入減少のため、収益の悪化が避けられない状況である。また、地震に伴い漏水修繕費・減価償却費・企業債利息が増加していることに加え、動力費の増、物価上昇による費用の増により、経営状況はより一層の厳しさを増している。

一方で、災害復旧を行いつつ老朽施設・設備の更新を行わなければならないため、アセットマネジメントを策定し、費用と経営状況の正確な把握、健全・効率的な経営の維持に努める。

また、経営戦略を改定し、将来にわたって住民サービスを確保できるよう料金の適正化に向けた検討に着手する。